



黒部川流域 総合開発計画 説明会ひらく

黒部川流域の総合開発を目的として、県では四十三年度予算に一千万円の調査費を計上しましたが、この問題は朝日発電計画の流域変更とからんで複雑な事情にあるため、三月二十六日午後二時から役場議場で説明会を開きました。

説明会には、県側から小林副知事、小浜総合計画部長ら五人町側からは町長をはじめ町議会議員、農協長、区長ら町内有志約五十人が出席し、県側は、一千万円の調査費は黒部川流域総合開発のための地表、地下水調査にかかると、朝日計画とは全然無関係であると強調し、町の協力を依頼しました。

このため町では、この調査を認めるかどうかについて改めて協議会などを開き、検討することになっています。

今月のよみ

- 1日 官庁会計年度はじめ
- 2日 小学校入学式
- 3日 中学校入学式
- 4日 保育所入所式
- 7日 世界保健デー
野中保育所入所式
- 8日 花まつり
- 10日 婦人週間はじまる
- 11日 メートル法公布記念日
- 12日 巡回交通事故相談
午前10時～午後3時
中央公民館
- 16日 観桜会
- 18日 発明の日
- 29日 天皇誕生日

人口	28,625
	(男13,496 女15,129)
世帯数	6,492
4月1日	住民登録数

ご寄附 感謝いたします。

受付金品	寄附者
土地 上田5,499の1 ほか3筆331㎡ (約¥300,000)	上野 第三部落
整理戸棚 1基 (¥10,000)	野中 青島 文吉
電池時計 1ヶ (¥12,000)	入膳 柴垣 良次
19型テレビ 1台 (¥63,000)	入善 地区婦人会
卓球 台 3台 (¥60,000)	入善町新浜船長会
講堂ステージ用絨帳 ほか幕 1式 (¥600,000)	東京 高田 吉次郎
教材購入資金 (¥400,000)	黒部市 工業KK 吉田 吉田 忠雄

道路整備に重点を

一般会計 5億6390万円を可決

新年度予算などを審議する第二十一回入善町議会定例会は、三月十一日から二十二日までの十一日間にわたって開かれ、予算、条例の改正など二十九議案と、報告一件、同意一件、選挙一件、請願八件、陳情一件について慎重に審議を続けた結果、全案件とも原案どおり可決、採択しました。

可決されたおもな議案は次のとおりです。

▽昭和四十三年度一般会計予算 総額は昨年の当初予算を一億一千六百万円も上まわる五億六千三百九十万円となりました。

▽昭和四十二年度一般会計補正予算では、歳入歳出にそれぞれ一千五百二十九万二千円を追加し、総額を五億三千八百五十六万三千円としました。

追加されたおもなものは、まず総務費として八百四十万円。この中には財政調整資金積立金三百万円をはじめ、入善高校の負担金、下山新地内に交通安全灯を設置する費用などがあります。民生費には、この四月から開所される野中保育所の改装費七十二万円を含む百六十万円を追加しました。

また、道路補修などに活躍する小型ダンプカー一台を購入するために百三十万円を失業対策費に追加しております。

土木費には四百万円を追加、豪雪のために痛めつけられた道

路補修や除雪のためのブルドーザー借上料、ことし建設する予定の町営上野住宅の土地購入費などにあてられます。

▽国民健康保険特別会計では、歳入歳出に一千九十一万三千円を追加し、総額を一億五千六百四十三万円としました。このほとんどは療養給付費としての国庫負担によるもので、国保加入者の診療費にあてられます。

▽公団分収造林特別会計では、十七万七千円が減額され、総額は百十万五千円になりました。

▽工場誘致事業特別会計では、二百十万円が減額され、総額は二千三百八十一万三千円としました。

▽固定資産評価審査委員会委員の選任については、任期満了となる西島吉太郎氏の後任として鬼原勝次氏を選びました。

▽黒部厚生病院市町組合議会議員に森田清作氏と米沢甚吾氏を選ぶ。

▽町長などの給料改正 町長は十五万五千円、助役八万八千円、収入役八万三千円、教育長七万八千円に引き上げる。また町議会の議長は二万八千円、副議長二万三千円、議員は二万一千円としました。

▽母子健康センターの使用料は入院料を一万一千五百円(町外



↑道路整備と産業開発に力を……と 施政方針の説明をする米沢町長(後方は笹原議長)

在住者は一万四千元)とし、超過入院料も七日をこえた場合に一日につき六百五十円とする。

▽税条例の一部改正 町民税の負担を軽くするため、昭和四十三年度分からは、所得割の税率を六・七%引き下げることになりました。

▽国民健康保険条例の一部改正では、被保険者が出産したときの助産費と、死亡された場合の葬祭費をそれぞれ三千元(いままでは二千元)に引き上げることになりました。これも昭和四十三年度分からは適用されます。

採択された

請願と陳情

- ▽入善町八幡公民館前通りの道路整備について 八幡一区
- ▽国営 報徳町道拡張と園家用水路改修について 下飯野地区
- ▽黒東中学校の施設改善について 黒東中PTA
- ▽可搬式小型動力ポンプの配置について 小杉地区
- ▽県道舗装について 芦崎地区
- ▽町道舗装について 芦崎地区
- ▽道路改良ならびに舗装の実施について 棚山新地区
- ▽季節保育所の開設について 春日婦人会
- ▽路面舗装について 舟見地区

グンと伸びた町税収入

国、県支出金も大幅にアップ

ことしの町の予算がきまりました。総額は五億六千三百九十万円。昨年の当初予算に比べて一億一千六百万円も大幅にふくれあがったこの予算は、一体どのようにして組まれたのでしょうか。ここでその内容を分析してみることしましょう。

町民税の税率引き下げ

▽町税 歳入 算の占める割合がもっとも多いのはなんとといっても町税です。これには昨年を三千三百万円も上まわる二億円を見込んでおり、歳入総額の三十五・五割となっております。

この内訳は、町民税が八千二百五十八万円、固定資産税が七千七百八十五万円、軽自動車税が六百二十四万円、町たばこ消費税が一千九百万円、電気ガス税が一千四百三十二万円となっております。いずれも昨年を大きく上まわっております。

これらはもちろん最近の急激な所得増によるものと思われませんが、町では町民税負担の軽減をはかるために、昭和四十三年度分からの町民税の所得割の税率を六・七割引き下げることになりました。

なお、電気ガス税の税率は電気料金の百分の七、町たばこ消費税の税率は小売価格の百分の十八・一と決められています。

助として国からくるもので、昨年より四千万円も多い一億四千六百万円を見込んでいます。これは歳入総額の二十五・九割にあたります。

▽分担金および負担金に二千四百二十二万円を見込んでいます。

このおもなものは、飯野漁協からの漁港建設分担金二百五十万円をはじめ、保育所へ入所している子どもたちの保護者の方からの負担金一千八百万円や、農業用施設水路などの改良事業、造林事業、道路舗装事業の地元負担金三百四十万円などです。

▽使用料および手数料は一千二百四十四万円を見込みました。これには、母子健康センターの使用料百六十万円や町営住宅の家賃四百十万円、中央プールの使用料四十五万円のほか、戸籍の謄、抄本や印鑑証明、住民登録などの証明書の交付手数料百三十万円、ことしから新設されるし尿汲み取り手数料三百八十万円などがあります。

漁港の建設管理に国が一千万円

▽国庫支出金 国が町で行なう事業に対して費用の一部を負担してくれるもので、歳入総額の十二割を占める六千七百七十一万円と、昨年より一千四百二十万円も多く見積っています。このおもなものは、まず、保育所を運営していくための負担金としての一千二百万円をはじめとして、芦崎保育所の改築費補助

百万円、入善漁港の建設および管理事業の補助一千二百万円、町道の整備に対する補助三百二十万円、都市計画事業の補助二百八十万円、国民年金事務委託料二百六十万円などです。

ライスセンターに県が二千五百万円

▽県支出金 昨年を四千四百万円も大幅に上まわる七千六百万円を見込みました。これは総額の十三・五割にあたります。この中には、新屋農協が主体となつて行なうライスセンターの建設やコンバイン、トラクタの購入補助三千六百万円をはじめとして、保育所の運営、地籍

調査事業、漁港の建設管理に対する補助や、参議院議員選挙、県知事選挙の委託金などがあります。

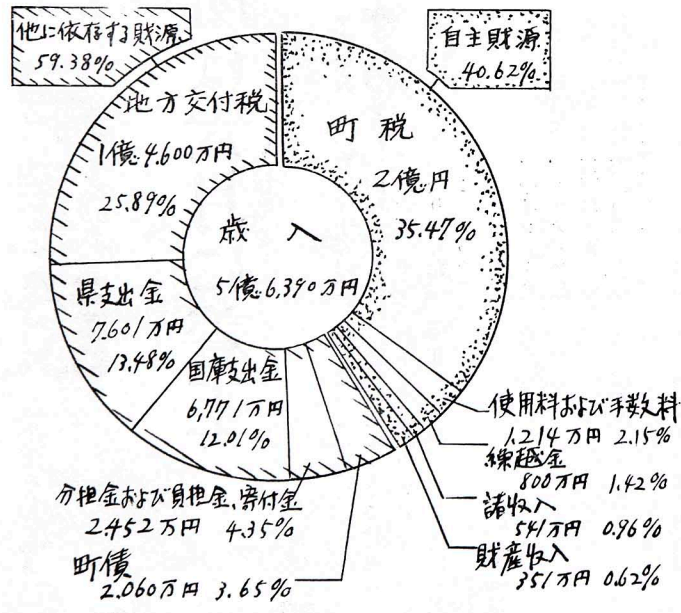
▽財産収入 町が持っている土地、建物の貸付料や、積立金の利子などによるもので、三百五十一万円を見込んでいます。

▽寄附金 浅海増殖事業や小型消防ポンプ購入のための指定寄付金を四十万円みめています。

▽繰越金 前年度からの繰り越しを八百万円みめています。

▽諸収入 町税の延滞金や預金利子、予防接種の徴収金、失業保険納付金、日雇健康保険納付金、国民年金印紙売捌手数料などで、四百万円をみえています。

▽町債 各種事業を行なうために町が借入するもので、芦崎保育所の改築のために三百五十万円、町営上野住宅を建設するための三百五十万円、町民税を減税したための減収分としての一千万円、あわせて二千六十万円となっております。



町営住宅20戸建設

芦崎保育所は六月に着工

次に歳出の面からこの予算の内容を調べてみることにしましょう。

歳出

五億六千三百九十万円という町営予算の編成にあたっては、○道路整備促進と交通安全

全対策の確立 ○産業振興対策の推進 ○学校教育の推進と社会教育の振興 の三本の柱を基本政策として綿密な検討を加えられております。

また、歳出にあたってはとくに消費的経費の節減、住民負担の軽減、投資的経費の増大に力を入れていきます。

▼議会費 議員さん方の報酬や職員の給与、旅費のほか消耗品費、備品購入費などに一千三百二十六万円をみております。

▼総務費 昨年より約一千万円ふえて八千八百七十三万円になりました。これは予算全体の十五・七割にあたります。

このうち総務管理費は五千四百八十万円で、職員との諸給与のほか事務用機械、机などの備品購入費、郵便料、乗用車を一台更新する費用、区長さん方の手当、街灯の電気料、「広報にゅうせん」の印刷費などとなっております。

そのほか、納税貯蓄組合への事務補助二百八十万円、町税を前納してくださった方に対する報償金百三十万円、戸籍住民登録費七百万円、参議院、県知事選挙などにかかる二百十万円、

農業基本調査、商工業調査など各種統計調査のための費用百五十万円などがみえてあります。

新発足する野中保育所



▼民生費 予算全体の十三・一割を占める七千三百六十九万円をみており、昨年より八百四十万円の増額となっ

ています。このうち社会福祉費は一千二百二十万円で、民生委員の方々の手当や、町の社会福祉協議会、遺族会、老人クラブなどに対する補助、おとしよりの健康診査や敬老会をお願いする費用、国民年金委員のみなさんに対する手当などが含まれております。

児童福祉費は六百三十万円で、保育所の保母さんや調理師の方々の給料、毎年春秋に開設される季節保育所の保母さんの賃金のほか、子どもたちの絵本や遊具、おやつなどの購入費がおもなものです。そのほかとしては、昨年の東部保育所の移転新築につづいて芦崎保育所を新築することになり、その工事請負費九百五十万円と、四月から開所される野中保育所の運営費として二百万円が計上されております。

ゴミ収集車を一台いれかえ



これは失業対策事業費のことで、総額は一千九百五十七万円そのほとんどが失対人夫のみなさんの賃



▼衛生費 二千五百五十万円で昨年より八百四十万円多くなりました。このうち予防費は五百十

万円で、生ワクチンやインフルエンザ、百日せき、ジフテリアなどの予防注射代三百二十万円のほか、衛生協力委員のみなさんへの手当、寄生虫検査手数料、結核検診委託料、伝染病患者が出たときの隔離費などにあてられます。

母子健康センターを運営するための費用としては三百二十万円を計上し、増築して充実した設備のもとで、さらにサービスの向上をはかることにしています。また、この四月からは誕生された赤ちゃんに足形のはいった誕生証書が渡されることになっています。

清掃費は一千三百七十万円で不燃焼物を集めるダンパカーを現在のものと入れ替えるほか、ゴミ収集車の車庫新設工事費、焼却炉を増設するための敷地買収費、清掃夫のみなさんの賃金などにあてられます。

町道千七百メートル タール舗装

▼労働費 これは失業対策事業費のことで、総額は一千九百五十七万円そのほとんどが失対人夫のみなさんの賃

金となっております。

失対事業としてことし実施される工事は次のとおりです。

まずタール舗装工事では芦崎線三百四十メートルが実施され、これが完了すれば芦崎地区は全線舗装が完了することになります。

また、舟見地区の西裏線および学校大門路線四百二十三メートル、入膳地区の西町線四百六十一メートル、横山地区の道下Ⅱ広住線百五十五メートル、入膳地区の踊場線三百四十四メートルそれぞれタール舗装することになっていきます。

道路の拡幅工事が実施されるのは入膳地区の東町Ⅱ中学校線五百三十三メートル、吉原地区の吉原二号線二百二十一メートル。道路の新設は東狐線百三十五メートル、幅四・五メートルが予定されています。

そのほか、町内一円の道路補修工事も随時行なわれます。

特別会計予算の内訳

(単位万円)

区分	ことしの予算	昨年の予算	比較
国民健康保険事業	19,200	14,100	+ 5,100
簡易水道事業	172	151	+ 21
公団分収造林事業	117	128	- 11
工場誘致事業	2,243	932	+ 1,311

土地改良に 一千六百万円



▼農林水産業費 町の興隆の原動力をなすものは産業の発展であり、とくに農業経営の近代の合理化による開発こそ町発展の基本であるという考えから、ここ数年来とくに力を入れて取り組んできています。このため歳入予算を占める割合も二十二・八割と最も多く、総額は一億二千八百六十二万円で、昨年よりさらに三千三百七十万円も大幅にふえております。

このうち農業費は九千九百万円で、ライスセンターの建設やトラクター、コンバイン、水分検定器などの購入補助のほか、目川、墓ノ木地区で実施される高度集団栽培促進事業、浦山新地内に建設される牧草乾燥場の建設補助などにあてられます。土地改良事業に対する補助は一千万六百万円で、昨年引き続いて各地でほ場整備が実施されることでしょう。そのほか、地籍調査のための測量委託料八百八十万円や、農業委員会委員のみなさんにお渡しする手当もこの農業費の中含まれています。水産業費は二千六百四十万円で、入善漁港の建設工事費一千万円、海岸保全工事費九百三十万円などがおもなものです。

上野団地に 二十戸増築



▼土木費 昨年より二千六百万円も多い五千七百八十五万円を計上しました。これは全体の十三割にあたり、三割にあたりです。

や新設のための用地買収費、砂利購入費、工事請負費のほか、県や国が行なう道路舗装、拡幅工事に対する負担金などにあてられます。

都市計画費は四百二十万円でことしは新国道八号線から旧国道までの都市計画道路を舗装することにしています。また、町営住宅の入居希望者が多いため、これにこたえて、新国道八号線沿いの上野団地にさらに二十戸を建設することにし、その建設費として一千七百万円が計上されております。

工場誘致会計へ 二千二百万円



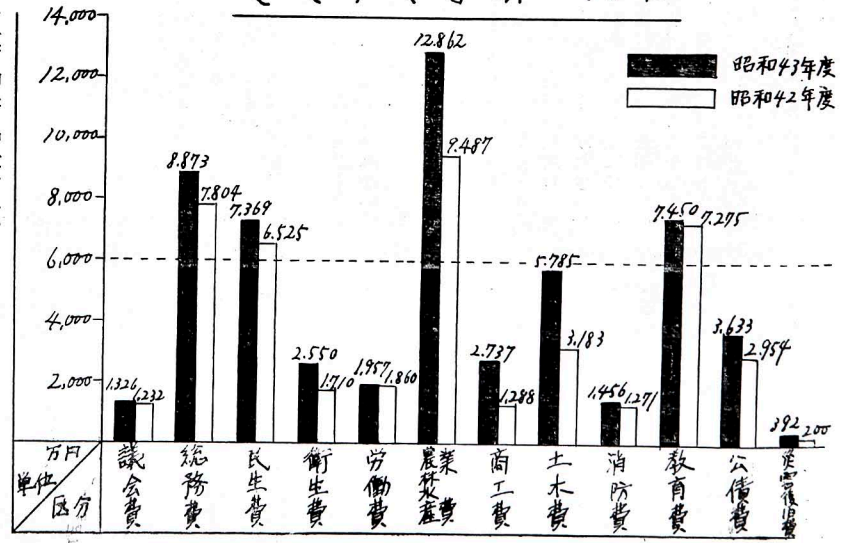
▼商工費 二千七百三十七万円で、昨年より一千四百四十万円多くなっています。この中には工場誘致特別会計への繰出金二千二百四十万円をはじめ、商工会への補助、入善まつりを開催するための費用、西入善駅前に水銀灯を設置する工事費、桜の苗木代、『入善音頭』の創作をお願いする費用などがみえております。

新発足する 教育センター

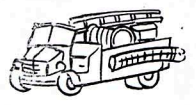


▼教育費 予算全体の十三・二割にあたる七千四百五十万円を計上しました。国を愛し、郷土を愛する道徳心を身につけるため、近年とくに教育の重要性が認識され『人づくり』の教育が大きく叫ばれてきております。このため町では、現在の理科教育センターの内容をさらに充実し、教育センターとして新発

でてゆく予算の内容



青木、野中に 小型動力ポンプ



▼消防費 火災予防のために一千四百五十六万円を計上。消防団員の手当やホース、被服の購入費のほか、青木、野中分団に配置する小型動力ポンプの購入費六十四万円もみえております。

▼災害復旧費 風水害などの被害を受けた場合の復旧費として二百九十二万円をみえています。

▼公債費 町が借入しているお金の返済分として三千六百三十三万円を計上。元金の返済に二千三百二十万円、利子の返済に一千三百十万円としました。

▼予備費 不測の事態発生に備えて百万円をみえています。

五億六千三百九十万円の使い道

子でひ島篁



めながら、きよりの失敗をあず
に持ちこすまい。また、あした
こそ新しいものを身につけよう
と、一日を反省してペンを持っ
て六年目に、私はもう二人の子
を持つ母親になっていました。

は駄目。とてもきびしい口やか
ましい人だけど、立派なおとう
さんである。」

この日記は親子の話し合いを
少しでも多く持ちたいと願う私
の一番いい材料になりました。

日記の表紙もいつの間にか育
児日記となり、子供たちへは、
「暖かい心のふるさとを作って
やらなくちゃ。」と、きょうまで
書き続けたことが、取りえのな
い私にとってかけがえのない宝
なんです。夜、みんなが寝静ま
ったとき、なにげなく過ぎし日
のページをめくるたびに、にっ
こりしたり、がっかりしたり、
それはそれは多様な人生模様
が描かれていて、思わずハッと
します。

そうだが、言葉で注意する代
わりにこの日記に語らせよう。
私は幾日か過ぎてから、床の中
に入って静かに読んでやるこ
とにしました。それがいつしか
習慣となり、「かあちゃん日記
日記、夕べの続き、はよう読ん
で。」と子供が自転車よりもねだ
るようになった時の私の喜び、
子供たちが自分の成長の姿を
知り、母としての私の気持ちを
少しでもくみとってくれたら満
足だと実行していることの一
つです。

四年前の四月二十五日の日記
にはこんな事を書いてあります。
「晃男が自転車をかっでもら
う。かあちゃん、自転車買って
よう。ね、ね、おねだりは私
から始まってじいちゃんまでい
ます。」

春たんぽになる、きまっ
て「ひで子、去年の肥料の
記録みてくれんかのう。」と私
を頼りきる父の声がいつも聞
かれ、さも得意げに日記をめ
くる私なんです。三十九年に
は二十一俵だった供出米は、
一反歩あまりふやし、豊作だ
ったとはいふものの、去年は
四十五俵の数字にあげる事がで
きました。「もうひで子も一人
前の百姓じやのう。」とじよう
ずに私をおだてる事も忘れない両
親や夫に、私の希望も二人の愛
児を心の支えにして更に大き
くふくらんできます。

なにか無我無中で、いい知れ
ない興奮のさ中に夢心地でいた
私に、しんみりと諭すように聞
かせてくださったあの晩のこと
ば、そばで黙ってにこにこし
ていた夫の表情にも、「ひで子、
よろしく任せたぞ。」という無
言のささやきを感じられ、十
四年間たった今でも、強く私
の心に焼きついて離れません
そうした父の期待に
少しでもそいたいと、文字ど
おり私の第二の人生の生活設
計は、私ながらの小さな貧弱
なものでしたが、一日一日を
精一ぱい、悔いのないものに
する一つの方法として生活日
記をつける事を決心したのでし
た。

喜びや腹立ち、悲しみを織り
まぜての生活のあしあとと育児
の記録から、農閑期利用の土方
のあけくれに書き続けたささや
かな記録が、主婦の座につきつ
つある私の生活の窓を開く心の
友であり、創意もここから生ま
れることを信じて、これからは
ずっと続けていきたいと思いま
す。

記録を喜びに

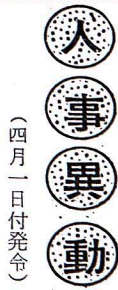
たくして

飯野婦人会

篁島ひで子

って止まる。そんな明け暮れの
何か月、本当に困った。近所の
仲間が自転車に乗って遊ぶのを
見るとたまらなくなるらしい。
『あんたたち、あんなに寂しそ
うにしていたけど、かあちゃん
もっと辛かったのよ。だって、
かあちゃん何万円も持っているは
ずないもの。』しっこくねだる
孫を叱り飛ばしておられた父な
のに、ボンと買っておどきる
子供たちより私自身こどきりし
たいくらい。『かあちゃん、な
おさら勉強せんならんがになっ
たね』晃男の笑顔はとつても印
象的。『あんたたち、勉強も大
事だけど、もっとがんじような
いい子になって欲しいの。』お
じいちゃんと思いやりも忘れて

喜びや腹立ち、悲しみを織り
まぜての生活のあしあとと育児
の記録から、農閑期利用の土方
のあけくれに書き続けたささや
かな記録が、主婦の座につきつ
つある私の生活の窓を開く心の
友であり、創意もここから生ま
れることを信じて、これからは
ずっと続けていきたいと思いま
す。



(四月一日付発令)

- ・ 総務課長 竹島米吉
- ・ 企画財政課長 宮腰由則
- ・ 建設課長 西尾三郎
- ・ 民生課長 森 栄
- ・ 住民課長 入江安正
- ・ 収入役室長 藤井 実
- ・ 議会事務局長 池原助造
- ・ 総務課総務係長 坂東高義
- ・ 企画財政課企画係長 塚田正蔵
- ・ 商工水産課商工水産係長 川原康久
- ・ 教育委員会社会教育係長 水野久昌
- ・ 建設課地籍調査係長 五十里宗栄
- ・ 建設課庶務係長 藤田政也
- ・ 農政課農林係長 上田 昇
- ・ 農政課農地係長 小森勇峰
- ・ 総務課主任 野坂和敬
- ・ 企画財政課主任 右井正雄
- ・ 税務課主任 赤川秀夫
- ・ 商工水産課主事 金森一洋
- ・ 図書館長代理 水野啓造
- ・ 教育委員会主任 米沢繁男
- ・ 東部保育所係長 吉島貞子
- ・ 〃 〃 川原フジエ
- ・ 〃 〃 調理師 西野シメ子
- ・ 西部保育所係長 柏原キヨ
- ・ 吉原保育所係長 赤川桂子
- ・ 〃 〃 調理師 広川トシ
- ・ 青木保育所係長 上田郁子
- ・ 〃 〃 〃 福島智子
- ・ 〃 〃 調理師 高田みゆき
- ・ 飯野保育所係長 広川昌子
- ・ 〃 〃 〃 愛場英子
- ・ 〃 〃 〃 四十物栄子
- ・ 新屋保育所係長 早崎秀栄
- ・ 小摺戸 〃 〃 〃 廣川敦子
- ・ 〃 〃 〃 〃 柳沢光子
- ・ 〃 〃 〃 〃 野口満素美
- ・ 舟見 〃 〃 〃 鍋島久美子
- ・ 〃 〃 〃 〃 三賀朝子
- ・ 野中 〃 〃 〃 本田アヤ
- ・ 〃 〃 〃 〃 亀田静代
- ・ 新採用(保母) 〃 〃 〃 〃
- ・ 四十物修子 浦田 悦子
- ・ 宮本まゆみ 井田千恵子
- ・ 山崎 馨子 真部 幸子
- ・ 〃 〃 〃 〃 宝泉豊子

(第十八回富山県婦人意見発表大会 下新川郡代表)

わが家は雑貨の商いが母の手
に、五・五反の田んぼは私、父
と夫はそれぞれ勤め人、ほかに
夫の弟妹が二人の六人家族でし
た。

私は、この我が家の嫁の座に
ついて、自分というものを見つ

「ねえちゃん、よう根気が続
くもんやね。店の会計もあんな
に任さんならん。」そんな母の
言葉が飛び出したのは一年もた
った頃だったでしょうか。

私に、しんみりと諭すように聞
かせてくださったあの晩のこと
ば、そばで黙ってにこにこし
ていた夫の表情にも、「ひで子、
よろしく任せたぞ。」という無
言のささやきを感じられ、十
四年間たった今でも、強く私
の心に焼きついて離れません
そうした父の期待に
少しでもそいたいと、文字ど
おり私の第二の人生の生活設
計は、私ながらの小さな貧弱
なものでしたが、一日一日を
精一ぱい、悔いのないものに
する一つの方法として生活日
記をつける事を決心したのでし
た。

世界の願い交通安全

子どもを交通事故から守ろう

交通事故の激化に伴い、とくにこどもの交通事故が増加する傾向にあります。

行楽の季節、新入学の季節を迎え、交通量が増加します。子どもたちを悲惨な交通事故から守るため、四月三十日まで、県下いっせいに『子どもを交通事故から守る県民運動』が実施されます。

新聞紙上で毎日お目にかかる交通事故は、もう他人事ではあ

りません。おたがいに充分気をつけましょう。

●運転者の方は

- ・横断歩道では必ず一時停止
- ・児童生徒が通行していたら一時停止か徐行をしましょう。

●保護者の方は

- ・子どもを道路で遊ばせないように
- ・子どもを一人歩きさせないでいつも目をはなさないよう。

●児童生徒は

- ・道路へ飛び出さないこと
- ・車の直前直後の横断をしない

●特別弔慰金の請求は早めに

大東亜戦争の戦没者の遺族の方で、これまでに弔慰金(五万円または三万円)をもらわれた方は、特別弔慰金をもらうことができます。

請求期限は五月三十一日となっておりますので、該当される方は民生課へ至急請求手続をしてください。

●二百円があなたを守る

国民年金では、月二百円、二百五十円の保険料で、月五千元から八千円の年金が受けられることになっていきます。

この月々の保険料は、七月、十月、一月、四月にその前の月までの分を納めなければならぬことになっていきます。

納め忘れは年金受給の権利を放棄することにもなりますので、もう一度、納め忘れがないか確かめておきましょう。

●選挙標語を募集

- ・参議選を明るく正しく行なうため標語を募集しています。
- ・官製はがき一枚一句
- ・しめぎり 四月二十日
- ・あてさき

東京都千代田区平河町二の六 明るく正しい選挙

推進全国協議会

体カづくり



体力つくりにとって、運動と栄養は車の両輪のようなものである。運動には勝敗の伴う競技形式のもの、遊泳・ダンス・体操のように競技化されないも

の、徒歩旅行・スキー・サイクリング等の野外活動とがある。その多くは強い訓練、施設、用具、経費が必要である。体操は老若男女、いつ、どこでも、仕事をしながら、寝ながら、休みながら簡単にでき、身体活動に対する準備、疲労回復、姿勢の矯正、筋力の補強に役立つ。解剖・生理学上考案された一連のものを否定するわけではないが、あまりそれにとら

われるから体操が普及しないのである。ラジオ体操、美容体操等の中で、自分

のをいくつか選んでもよい。要は習慣づけ、毎日継続することである。

て能動的な動きをさせ、はうすわる、立つ、歩く基本動作を正しく、確実に、上手にできるようにするものである。

注 実施される方は医師、助産婦、保健所等に相談のこと。乳児を裸にするか、薄着にして手足を自由に、ゆっくり行なうこと。

●夫婦のための体操

- ①うつぶせになった者の足の裏に乗ってよくふむ。
- ②足首をもって腰につくように押しつける。
- ③手を持ってゆっくり上体を後にそらせる。
- ④肩に手をあて腰をふむ。腰に手をあて、ふくらはぎの上にする。

夫婦で交代して行ないますと、アンマさんの代わりになり、夫婦げんかも起こりません。



肩のゆがみ伸ばし
ひとり歩きも前進か



起き上がる準備



腕をのびす運動



背筋を強くする



脚をのびす運動



逆さにつるす
90度からはめる



脚と腹の筋肉を強くする



足の裏、甲指をこすつたりして
ちぢまったホーズから解放してやる

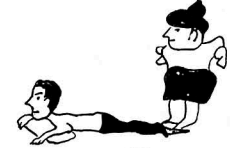


お坐りから立ちの準備



指をのびさせる

足の裏





▼春の大そうじ

春の大そうじは、カ、ハエ、ノミ、ネズミなどの害虫を徹底的に退治することに重点をおきましよう。

天井裏―懐中電燈で照らしながらよくほこりを取り、消毒剤を噴霧器を利用して、たっぷりかけます。消毒剤は薬局などでよく相談すること。

床下―消毒剤、石灰などを十分まく。

たたみの裏―よく日に当ててほこりをたたき出す。床板の上には新しい新聞紙を三枚ぐらい重ねて敷く。消毒剤を忘れずに十分かける。

便所のまわり―くみ取り口の周囲の土を十五センチほど掘り返し、ウジを殺す薬をまく。ゴミ捨て場や下水の付近も同様にする。

▼子どもの気管支ぜんそく

ぜんそくはあらゆる年齢の人に起こりますが、その三十割は十歳以下の子どもだといわれています。子どもの気管支ぜんそくの原因は、主に遺伝的な体質とも考えられますが、空気中のチリやゴミを吸っておくことも多いのです。

これはなかなか治らないものですが、年令が進むにつれてほとんどもは自然に治るものです。原因がよくわからないため治療はむずかしいのですが、一般的な方法としては、ふだんから乾布まさつ、冷水まさつなどで皮膚をきたえておくことです。

▼栄養分の多いコンブ

コンブはヨードをたくさん含むほか、カルシウムやリンなどのミネラルも豊かで、たん白質の量もたくさんあります。ヨードの含有量は野菜の二百〜五百倍といわれ、日本人にヨード不足からくるパセドー氏病が少ないのは、コンブをはじめ海藻類を充分食べているからだといわれています。

新着図書

殉国 吉村 昭

文化財保護必携 文化財保護委員会

レコード、オーディオ百科 音楽之友社

世界文学全集Ⅱ-1、5、6 河出書房

現代の俳句 志摩芳次郎

日本の詩歌10 14 22 中央公論社

男性待望論 会田雄次

信仰と美の誘惑 亀井勝一郎

日本歴史シリーズ11 16 18 世界文化社

カラーガイドシリーズ22 山田書院

日本の美7、8、9 国際情報社

沖繩の百日 黒坂富雄

現代世界ノンフィクション全集 筑摩書房

13 15 24 わが師わが友 白井吉見

世界の文学9 35 38 39 43 50 中央公論社

小泉信三全集8 11 小泉信三

昭和史の天皇 読売新聞社

異別シリーズ8 9 13 14 人文社

日本の美術別巻 平凡社

原色日本の美術17 小学館



おめでとう(出生)

- 住所 保護者 続柄なまえ
- 上野 本多俊夫 2女 留美子
- 小杉 前田秀男 2女 睦子
- 東 長田幸雄 2男 英和
- 舟見 長岡国男 長女 益美
- 道市 吉島盛博 2女 博子
- 入膳 吉田行雄 長男 徹
- 春日 米田進 長女あゆみ
- 入膳 五十里重信3女 千恵
- 入膳 吉田光夫 2男 正
- 入膳 南誠一 2男 敏裕
- 古黒部 草 爽 長男 誠一
- 入膳 田原政夫 長女 衣絵
- 入膳 狐 留雄 2男 明
- 入膳 山中三徳 長女千恵子
- 横山 板沢茂 2男 正和
- 入膳 五十里清元 長男 和也
- 愛場 萱原 忠 長男 栄成
- 福島 福沢忠義 2女 智恵子

おくやみ(死亡)

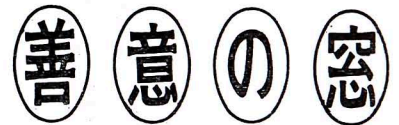
- 住所 氏名 年令 世帯主
- 入膳 北野久紀 長女 由里子
- 入膳 扇原寛治 2女 紀美代
- 横山 亀田雅之 2女 由加子
- 入膳 森谷和雄 2女 真弓
- 舟見 山崎博昭 長女 美代子
- 中沢 薬師教男 2男 健二
- 舟見 小森 剛 長女 浩子
- 入膳 松田 幸雄 22 置木ハツエ
- 道古 大田 みよ 69 孝吉
- 青島 大角 つり 62 信美
- 青島 大角善次郎 67 本人
- 青島 高浜 和人 37 本人
- 吉原 本田 つね 80 清一
- 西中 百石 順作 87 正一
- 今江 小坂 ちよ 60 佐治
- 入膳 矢野 アヤ 64 伸二
- 横山 森島 勇勝 51 本人
- 蛇沢 滝本 よき 83 喜作
- 新屋 永井 つや 82 幸与
- 舟見 内島 すゝ 89 榮郷
- 上飯野 上島二佐次郎 74 本人
- 高島 広瀬 あい 79 武吉
- 下飯野 西島菊次郎 54 本人
- 小摺戸 伊林 こと 83 はちい
- 高島 田 作太郎 61 本人
- 入膳 小摺戸 徳子 56 新作
- 横山 亀田 作吉 59 本人
- 小杉 中田 与松 54 本人

泰平一家



- 吉原 本田 つね 80 清一
- 西中 百石 順作 87 正一
- 今江 小坂 ちよ 60 佐治
- 入膳 矢野 アヤ 64 伸二
- 横山 森島 勇勝 51 本人
- 蛇沢 滝本 よき 83 喜作
- 新屋 永井 つや 82 幸与
- 舟見 内島 すゝ 89 榮郷
- 上飯野 上島二佐次郎 74 本人
- 高島 広瀬 あい 79 武吉
- 下飯野 西島菊次郎 54 本人
- 小摺戸 伊林 こと 83 はちい
- 高島 田 作太郎 61 本人
- 入膳 小摺戸 徳子 56 新作
- 横山 亀田 作吉 59 本人
- 小杉 中田 与松 54 本人
- 原色日本の美術17 小学館
- 日本の美術別巻 平凡社
- 人文社観光と旅編集室
- 読売新聞社
- 小泉信三
- 中央公論社
- 筑摩書房
- 白井吉見
- 世界文化社
- 山田書院
- 国際情報社
- 黒坂富雄
- 筑摩書房
- 白井吉見
- 中央公論社
- 小泉信三
- 読売新聞社
- 人文社
- 平凡社
- 小学館

預託 (寄附)	内 容
京都市 池原辰次郎	10,000円 還暦祝として社会福祉事業資金に
入膳 山本 正勝	5,000円 善意銀行へ毎月
入膳 地区 青年団	5,000円 えびの地震義捐金に
荒 又 青木やす子	500円 善意銀行へ5円玉を
入善中学校 生徒会一同	486円 校内拾得金を
桐山 前田 勝義	1,000円 交通安全協会へ
桐山 地区 小杉婦人会	1,000円 善意銀行へ
7件 22,986円	



あなたかいご芳志を感謝いたします
入善町善意銀行
(2月21日~3月20日)